

豊岡市外来種対策行動計画の策定

～コウノトリがいつまでも住めるまちの実現に向けて～

2023年3月に策定した「豊岡市生物多様性地域戦略 短期戦略Ⅲ」では、外来種への実効的な対策を行うことを一つの目的としている。

コウノトリを含む豊かな生物多様性を今後も維持していくため、市内における外来種の防除等の対策を推進・強化する「豊岡市外来種対策行動計画」を策定した。

1 策定の背景

(1) 国内外で広まる外来種対策の動き

ア 世界の動向

2022年にカナダで開催された生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)において目標の一つに「2030年までに侵略的外来種の侵入率・定着率を半減」を設定。

イ 国内の動向

2023年の外来生物法の改正により、特定外来生物の防除主体に都道府県も含まれ、防除措置の責務が課せられたほか、市町村にも努力義務が設定。

ウ 兵庫県の動向

県内において特に影響が大きいと考えられる外来生物をリスト化しているほか、2024年度の9月補正予算において、ナガエツルノゲイトウへの緊急対策予算として1億1,400万円を計上するなど外来種対策を強化。

(2) 豊岡市における外来種の現状

ア 外来種の侵入状況

2023年度の調査により251種の外来種が確認されており、繁殖力が強く生態系への影響が大きい特定外来生物は16種が確認されている。

イ 特定外来生物への対策

市広報による周知のほか、住民グループ、企業のCSR活動、市の管理施設等で駆除が行われているが、局所的な活動が中心となっている。

2 豊岡市外来種対策行動計画の概要

(1) 外来種に対する普及啓発の強化

市の広報紙やホームページ掲載、ポスター掲示、外来種勉強会の開催、活動報告機会の創出 など

(2) 協働による外来種駆除活動

オオキンケイギクを対象とした、クリーン作戦にあわせた駆除の推進や、秋季の芽生え時期の駆除を進めるワークショップの開催、市助成事業による駆除関連費用の補

助、駆除後の処分協力 など

(3) エリアを定めた外来種対策

ア 生物多様性に富むラムサール条約登録エリア等での外来種モニタリング調査

田結湿地等でのアライグマ侵入状況調査(兵庫県森林動物研究センター協力) など

イ 分布が限定的な特定外来種の根絶に向けた駆除

神鍋エリアにおけるオオハンゴンソウの駆除 など

(4) 未侵入の特定外来種の周知(一例)

ア ナガエツルノゲイトウ

コウノトリ育むお米生産部会等、影響が特に大きい農業分野への周知 など

イ クビアカツヤカミキリ

桜並木の管理者や観光協会等への情報提供 など

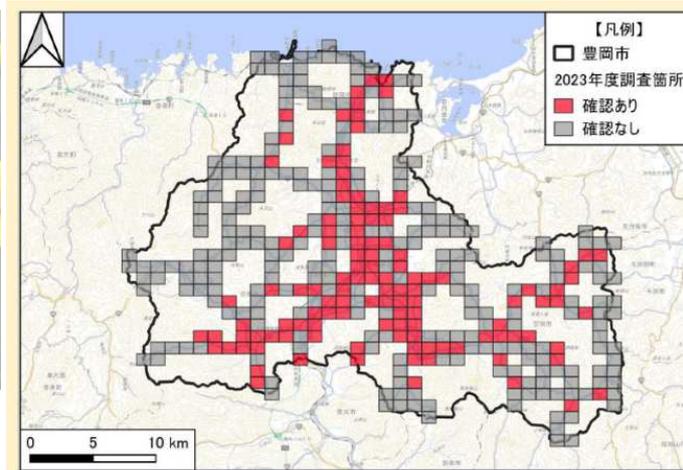


写真：ひょうごの環境

3 外来種対策行動計画の推進

- (1) 豊岡市環境審議会生物多様性部会で評価、見直しを行いながら推進
- (2) 豊岡市生物多様性地域戦略 短期戦略Ⅲ終了時(2027年度)に外来種対策の評価

(参考) 市内における外来種の分布の一例～オオキンケイギク～



2023年度に行った調査では、市内の国道・県道総延長278.1km中14.5kmでオオキンケイギクが生育していると推定された。

オオキンケイギクが増加すると、在来の草花が追いやられ、それらを餌とする昆虫などの小動物も減少し、生物多様性の低下を招く可能性がある。

〔問合せ〕 コウノトリ共生部コウノトリ共生課 TEL0796-21-9017(直通)